

鳴子きずなの会 Waka Web 歴 証 会 ... 虫いっある ... 鳴子 ... カンパニー ... 鳴子 ... いたばい ... たいに ... 結果 ... 日(祝) ... 鳴子 ...

鳴子きずなの会

花の味か
苗の育成歴

地域のニーズは変わる！ ～多様に変わるまちづくり活動の軌跡と現在～

鳴子地域の住民構成は、建替え前のUR賃貸住宅の高齢者層から、分譲マンションなどの子育てファミリー層中心へと変化してきました。それに伴い、鳴子きずなの会の活動も、住民のニーズに合わせ多様に変化し広がっています。

【賃貸住宅時代】高齢者とURと介護系福祉事業者

10年ほど前までは名古屋市の高齢化社会の先取りモデルとして位置づけられていた鳴子。当時の住民ニーズは高齢者福祉であり、歴史・落語・俳句や天体観測などの趣味、ラジオ体操、医療と介護福祉の講演などでした。

【分譲マンション時代】子育てファミリーと共に

20年ほど前から徐々に始まったUR跡地を中心とした分譲マンションの建設で、住民の中心は次第に子育てファミリー層へと変化してきました。地域住民のニーズは、インターネットを通じた交流になり、地域の情報ホームページ「鳴子ポータルサイト」を立ちあげ、フォトコンテストなどで住民の交流を図りました。

鳴子内外にどまつりチームが次々と誕生したことをきっかけに、住民やチーム同士が交流できるように、チームの代表などが集まって鳴子の踊り「ココなるこ」が生まれました。また、鳴子学区50周年では、鳴子のうた「新しい風が吹く」が披露されました。



鳴子のうた

ココなるこ



鳴子台中学校生徒会の「夏休み花水ボラ」活動



学童との「ナルコ」の花文字植え

当会は設立当初から「種から苗へ、花いっぱいのもちづくり」を掲げ活動してきました。その活動も現在は、地域の子どもや中学生を巻き込んだ、花を通じた住民のつながりづくりに変化していきました。

高齢者と子育てファミリー層をつなぐため、ウォーキングや「てくてくサッカー」などで交流も図っています。鳴子中央公園の林では、落ち葉プールや音楽会を開催。さらに、森の資源利用として落ち葉による花の堆肥づくり、低木伐採による持続可能な森づくりもスタートしています。



落ち葉プール

【多世代が入り組むハイブリッドな未来へ： コンパクトシティ時代の持続可能な地域活動】

鳴子駅から少し離れた鳴子地域。駅そば開発が進まず、孤立気味で自ら完結しそうな鳴子中央公園周辺のショッピング街。高齢者も子供も、その親も、まちに自然な景色になってきて、「事実としての多世代」が実現しています。その関係を日常的なつながりにまで土着させる仕掛けと仕組みづくりを今後も行っていく予定です。